

令和2年度 大田区立蒲田中学校 自己評価 報告書

令和3年3月11日

○ 本校の概要

・学校規模 生徒数196名(全7学級、1学年72名、2学年61名、3学年63名)、日本語学級併設
・目指す学校像 > これからの社会を担う生徒に、やり抜く力を育み、生徒・保護者・地域から信頼される学校
・目指す生徒像 > 目標に向かって努力を続け、失敗を恐れず前向きに取り組む、成長を遂げる力を持った生徒・より良い社会人になるために社会に貢献できる生徒の育成
・令和2年度重点課題【基礎・基本となる学力の確実な習得】○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ○ICT機器を活用した授業実践 ○基礎・基本となる学力の確実な習得 補習教室の充実
・特色ある教育活動
○学校ホームページ内の動画配信等による充実したオンライン学習教材 ○地域と連携したボランティア活動の推進 ○ダンス部の地域行事等での発表と活動 ○取組内容 対象 そう思う:ややそう思う:あまり思わない:全く思わない

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 学校関係者記入欄 (評価人数, 意見・感想). Rows include: プラン1 未来社会を創造的に生きる子供の育, プラン2 児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます, プラン3 子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への豊かな心を育みます, プラン4 スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします, プラン5 児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくりまします, プラン6 学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作りまします。

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記